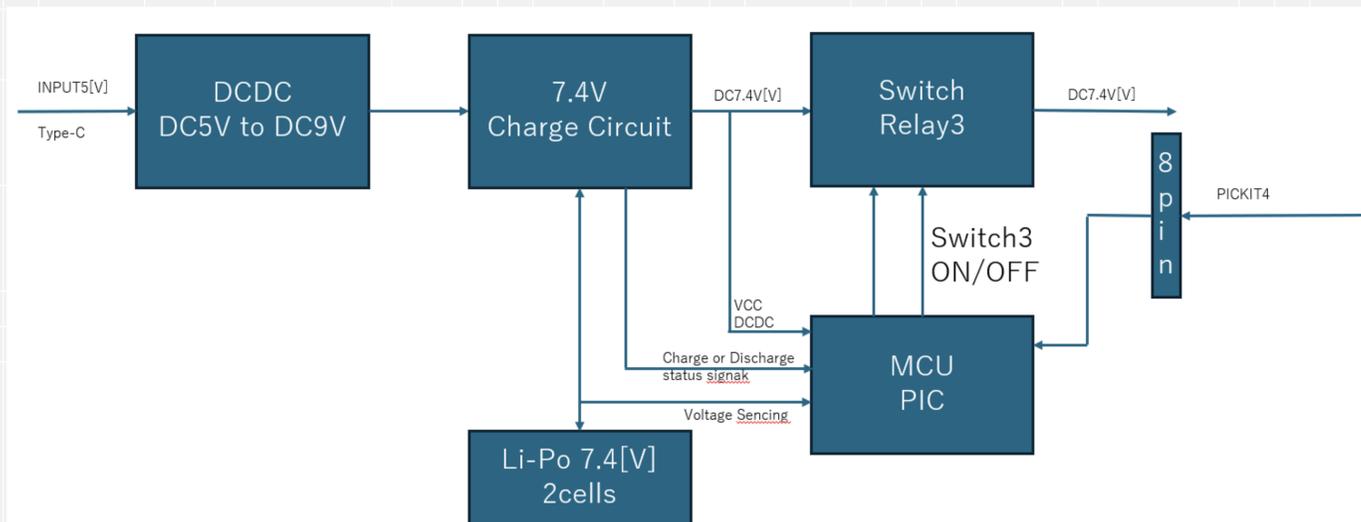


ものづくり事例

ラッチリレー制御回路

ラッチリレーは、一度のパルスで状態が変更されるため、通常のリレーとは異なり、常時電力の供給が不要です。よって、保持電流は、不要であり、電源供給が電池の場合、消費電力低減に貢献します。



回路ブロック図

特徴

- 電池駆動の為、リレー動作の消費電力を低減し、電池駆動時間の保持が不可欠です。
- ラッチリレーを採用することで、常時必要な保持電力供給が不要になります。
- 電力消費しない状態で保持できるため、発熱が少なく、長時間安定動作が可能です。
- MCUとラッチリレーの間には、リレー駆動回路 (MOSFET) が必要不可欠になります。
- 各ラッチリレーで MCU の制御線 (GPIO) が2本必要になり、プログラムを考慮します。

■ 回路設計事例

マイクロコントローラによる電源回路

モーター制御回路

センシング回路

環境発電回路

降圧チョッパ回路

フライバック回路

プッシュプル回路

ZETA 回路

電流共振回路

アクティブクランプ回路

マルチフェーズ回路

疑似共振回路

二次電池アプリケーション回路

インバータ回路

FCC 回路

昇圧チョッパ回路

フルブリッジ回路

CUK 回路

絶縁 CUK 回路

E 級共振回路

位相シフト回路

三相フルブリッジインバータ回路

PFC 回路

LED ドライブ回路

メガソーラーシステム回路

RCC 回路

昇降圧チョッパ回路

ハーフブリッジ回路

SEPIC 回路

電圧共振回路

複共振回路

同期整流回路

IMU センサーの位置推定